

2023年度チャレンジ講座(第15回)を実施しました

1月31日(水曜日)、第15回(文系第8回)のチャレンジ講座を実施しました。今回は、経済学部の山浦陽先生より、「農村を・が支える若者・大学生」というテーマで講義していただきました。



山浦陽一

大分大学経済学部のプログラムである「田舎で輝き隊！」の活動を中心に、農村の現状と若者・大学生にとっての農村の意味についての解説が、プログラムに参加している大学生や大分県の農村の人々の実際の声をもとに行われました。

「田舎で輝き隊！」の3つのコンセプトやプログラムの全体像の説明の後、2023年度の活動実態についての説明がありました。本年度の「田舎で輝き隊！」は「杵築班」と「安心院班」があり、「杵築班」の地域運営組織の活動計画策定支援、「安心院班」の放置竹林整備とキャンプ場開発についての詳細な活動説明とそれらの出口戦略が解説されました。

5. 「田舎で輝き隊！」とは？

- 3つのコンセプト
 - ①フィールド: 海外・都会でなく_____へ
 - ②手法: 体験・交流でなく_____を目標
 - ③テーマ: _____か_____のどちらか
- プログラムの全体像(2017年度以降)
 - ゼミ: 2年生(15人程度)、3年生・4年生(8人ずつ)
 - 通常講義: 農村発展論 I・II
 - 集中講義: FW入門、農山漁村再生論、農村再生セミナー

6. 20 地域運営組織 隊

- 杵築班 region management organization
 - 住民自治協議会 RMOの地域計画策定支援
 - 杵築市内内地区、小学校区、1,500人、コミセン
 - 事前準備(学生)→役員会(オンライン)→策定委員会(対面)
 - 学生は各農家の企画/プロデュース、プログラム、ファンリ)の代行
- 安心 (ちくわbase)
 - 学生による 開発、運営
 - 学生市安心隊、DF)古民家BASE 龍王
 - 放置竹林整備、がれき撤去、情報発信、決済システム整備...
 - 持続的な竹林整備、ビジネスと地域をつなぐ

また、大分大学経済学部の改組に伴い、「田舎で輝き隊！」のプログラムがなくなることが伝えられました。同時にプログラム自体はなくなっても地域における活動は継続的に行っていくことも伝えられました。質疑応答の時間では、山浦先生と受講生との双方向のコミュニケーションが展開されました。

大学における学びが机に座っての座学のみならず、フィールドワークなど活動的な学びも重視されているということが山浦先生の講義から伝わり、大学で学ぶことの楽しさを生徒が実感できる非常に貴重な講義でした。

8. 派生サークルの展開

- 「BunDait」ドリーム(BDD)【※詳細はインスタ参照】
 - 安心院町「ドリームファーマーズ(JAPAN DF)」との連携
 - ぶどう生産・加工(ドライフルーツ)・販売・カフェ
 - 14・16・19年度集中講義、18年度卒論
 - 農村ベース大学、ワイン祭り、果農実習...
 - メンバー確保、移動手段確保、連絡とのリンク
- 「ししまい！」の概要
 - 豊後大野市緒方町(健康)・農山漁上(健康)・農山漁上(健康)・農山漁上(健康)・農山漁上(健康)
 - 15・17年度集中講義、16・17年度卒論
 - 健康大使、五千石祭り、福祉施設訪問...
 - メンバー確保(特に親子)、移動手段確保、地域の活性化...

今回は18校283名の高校生が受講しました。感想の一部を紹介します。

○お忙しい中貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。私は「地域活性化」について大学で学びたいと思っていたので、このような話が聞けてすごく良かったです。大学で学ぶだけでなく、現地に行って現地の方々と地域活性化に取り組めるのを知り、改めて大分大学経済学部に進学したいと思いました。「田舎で輝き隊！」がなくなってしまうのは残念だけど、ゼミでも同じような活動ができるとおっしゃっていたので数年後私もこのような経験ができるように受験を頑張ろうと思えました！

9. 輝き隊の出口戦略

- 「こみさぼ」の役割と経緯
 - 「一般社団法人コミュニティサポートおおい」
 - 2019年8月設立、RMO設立・運営の中間支援組織
 - 2023年度、大分、由布、豊後大野、杵築、佐伯、吉野川、鹿兒
 - 山浦ゼミOB(うち52人専従、1人は大学教員)が教員
 - 学生時代にRMOと活動、公務員、民間企業を経て参加
- 「ちくわ」の役割と経緯
 - 「ちくわ」の役割と経緯
 - 「ちくわ」の役割と経緯
 - 「ちくわ」の役割と経緯

○自分の地域の農業について調べてみようと思いが湧いた。また、自分が興味のある経済学部について大学生の話聞く事ができ、活動を知る事ができるいい経験になった。

○経済学部という堅苦しいイメージがなくなり、とても良い印象を持ってました。とてもわかりやすく説明してくださり、農業に興味を持つことができました。

10. まとめ-輝き隊の成果と課題-

- 大分県ってどんな県？
 - なぜ地域運営組織？、なぜ安心院？
- 輝き隊とは？
 - 地域活性化と教育(と研究)の二虎を追うプログラム
 - 地方の強み×大学での学び
 - 積極行動論、心理学、教育学、社会学、法学...
- お詫びと宣伝
 - 2024年度改組(看板と実態のギャップ解消)
 - 中長期的な課題(ちくわと受け皿の連携)